

2027 年度協定校派遣学生募集要項 (前期募集)

2026.3.24

国際センター

津田塾大学は 14 の国・地域の 32 大学と学生の交換または派遣に関する協定を結んでいます。前期の選考では、そのうちの 7 大学について、春に留学を開始する 2027 年度派遣学生を募集します。

(その他の協定校については後期に選考試験を実施します。募集要項は 7 月下旬頃に発表します。)

※前期募集校については、定員に満たなかった場合のみ、後期に募集をします。

1. 出願資格

- ① 学部生は派遣年の前年度までに 30 単位以上の科目を修得していること。
 - ② 出願時に学部 2 年生以上に在学しており、出願時から留学期間終了時まで本学に在学中であること。
 - ③ 本学の学業成績が原則として総合 GPA 2.8 以上かつ志願先大学の GPA 条件を満たしていること。
 - ④ 志願先大学の要求する語学能力を有していること。
 - ⑤ 十分な資金の準備ができること。
 - ⑥ 異文化適応能力があり、心身の健康状態が良好であること。
 - ⑦ すでに協定校選考試験に合格している学生、あるいは合格後辞退した学生でないこと。
- ※ 大学院生で校内選考に出願する場合、必ず事前に国際センターにご相談ください。

2. 出願書類

- ① 2027 年度協定校派遣学生出願フォーム

<https://forms.gle/5p1jjo8P8seYp6gS7>

※大学のアカウントへのログインが必要です



※(第二志望の大学を記載する場合)「志望先大学を選んだ理由と学びたいこと」において、第二志望の大学についても記述すること

【②～③は①の出願フォームからアップロードをして提出すること】

- ② 志願先大学が要求する語学スコアのコピー
※第二外国語の検定試験結果がある場合は、コピーを提出すること。
- ③ 最新の成績通知書
※ 大学院生は学部の成績通知書または成績証明書のコピーも提出すること。
※ 編入生は本学入学前に在籍していた大学等の成績通知書または成績証明書も提出すること。

【④は指導教員から国際センターにメール添付(PDF)、窓口持参のいずれかで提出いただくこと】

- ④ セミナー指導教員による志願者評価書(所定様式)
※ 1ターム以上の指導歴のある教員に依頼すること

(注意)

- 書類はすべて A4 サイズで提出またはアップロードすること。

- TOEFL または IELTS のスコアについて：
 - 過去 2 年以内に受験した際のスコアを提出すること。
 - IELTS は Academic Module を受験すること。イギリスの協定校の語学研修に参加する場合、IELTS for UKVI の受験が必要となる。詳細については各協定校の募集要項を確認すること。
 - インターネット画面上のスコアを提出する場合、スコアの原本が届き次第、スコア原本のコピーを国際センターに提出すること。
 - 学内選考試験に合格後、志願先大学へ出願するまでにスコアの有効期限が切れる場合には、試験を受けなおした上で、条件を満たすスコアを取得すること。
- 面接順発表後の面接順変更依頼は不可とする。
- 提出された書類は返却しない。

3. 出願締切

2026 年 5 月 12 日（火）15：00 厳守

提出方法は前掲の「2. 出願書類」を参照すること

4. 選考日程および学内選考合格者のオリエンテーションについて

ウェブサイト上の掲載を参照すること。

6. その他留意事項

- ① 本選考試験合格者は本学より派遣候補生として志願先大学に推薦されます。なお、**本選考合格後は辞退できません。** 推薦された後、各自で志願先大学に出願し、審査の結果、正式な受入許可が下りた場合に協定校派遣学生の資格を得ます。**(本選考試験合格＝協定校派遣の確定、ではありません。)**
- ② 志願先大学に出願する段階で、**要求されている GPA および語学スコアを満たしていない場合は派遣することができません。**（本選考試験合格後も志願先大学の出願要件を満たす状態を維持する必要があります。なお、派遣学生選考後に協定校が受け入れ条件を変更する場合があります。）
- ③ 1 年もしくは半年の留学期間は本学における修業年限に算入できます。
- ④ 留学期間（留学開始日および終了日）は派遣先大学の決定により変更される可能性があります。
- ⑤ 定められた留学期間を個人の理由により変更することはできません。
- ⑥ 派遣先大学では定められた単位数を履修登録し、単位修得に努めてください。
- ⑦ 留学終了後は本学に戻り学業を再開してください。
- ⑧ 出発日から帰国日までを保険期間とする海外旅行傷害保険に渡航前に必ず加入してください。
- ⑨ 外務省海外安全ホームページによる「危険情報」または「感染症危険情報」がレベル 2 以上の国・地域への学生派遣は行いません。

■ 協定校留学に関する学内制度について ■

(1) 学籍

協定校留学はすべて「留学」の学籍になります。

1年を限度としてその留学期間を本学における修業年限に算入できます。

(2) 科目継続（学芸学部開講科目のみ）

後期から1学年間の留学を開始する場合には、T1-T3-T4科目またはT1-T3科目について、同一科目の留学前（前期開講部分）の履修と、帰学後（後期開講部分）の履修とを継続することで、通年分の単位を修得することができます。半年間の留学をする場合は科目継続の申請はできません。

また、隔年開講科目など翌年度開講されない科目については科目継続されませんので、注意してください。

※ 科目継続は私費留学にも適用されます。

(3) 単位認定

留学先の大学で修得した単位については、本学での他の認定科目と合わせて学部生は30単位まで、大学院生は10単位まで本学の卒業・修了に必要な単位として認定を願い出すことができます。（ただし、大学院生は修了単位に含める場合、各研究科の条件があるので教務課に相談してください。）

本学で開講されている科目に時間数やレベル・内容がほぼ該当すると認められた場合、本学の単位として認定されます。

※ 留学期間を含め4年間で本学を卒業することを希望する学生は履修要覧および国際センター発行の「津田塾生のための留学ハンドブック」を熟読したうえで、国際センターならびに教務課または千駄ヶ谷キャンパス事務室にその可能性について事前に確認してください。

※ 単位認定は「留学」の学籍での私費留学にも適用されます。

(4) 留学に伴う登録延期（学芸学部の学生のみ）

後期から留学を開始し、翌年5月末日までに学期が終了し、本学での履修を再開することができれば、遅れて履修登録をし、授業の履修を開始することができます。ただし、出席重視科目とT1-T3開講科目は、出席日数の都合により、帰国日によっては受講が許可されない場合があります。留学終了後は速やかに帰国するようにしてください。T1科目は履修できません。

なお、留学に伴う登録延期のために、留学期間を短縮すること、一時帰国して履修登録手続きのみをすることは認められません。

登録後は直ちに履修を開始してください。

※ 留学に伴う登録延期をする場合、帰学する年度の前期分の本学授業料は減免されません。

※ 留学に伴う登録延期は私費留学にも適用されます。

注) T1科目…第1タームのみで完結する科目

T1-T3科目…第1タームと第3ターム連続で開講される科目

T1-T3-T4科目…第1ターム・第3ターム・第4ターム連続で開講される科目（通年科目）

協定校一覧

2026年3月24日現在

国・地域		募集人数	留学期間	対象	英語の語学要件		その他 語学要件	成績基準 GPA
					TOEFL iBT	IELTS		
アメリカ	ウエスタン・ワシントン大学	交換1人(注1)	2027.3～ 2028.3	*2	79	6.5		2.8
オーストラリア	オーストラリア国立大学	派遣3人	2027.2～ 2027.11	*1	81 (注2)	6.5 (注2)		3.0
	ディーキン大学	派遣5人	2027.2～ 2027.10 または 2027.2～ 2028.2	*1	新形式：3～ 旧形式：50～ (注2)	5.0～ (注2)		2.8
韓国	梨花女子大学校	交換2人	2027.3～ 2027.12	*1	(注3)			2.8
	国民大学校	交換2人	2027.3～ 2027.12	*2	(注3)			2.8
中国	南京大学海外教育学院	派遣3人	2027.2～ 2027.12	*1				2.8
台湾	淡江大学	交換2人	2027.2～ 2028.1	*2				2.8

※前期に募集を行わない協定校については、後期の募集要項で詳細を確認のこと。

(注1) 交換留学：州内授業料自己負担、派遣留学：州外授業料自己負担 詳細は大学ごとの情報が記載されたページを参照のこと。

(注2) 各セクションごとの要求点については、協定校別の募集詳細を参照のこと。

(注3) TOEFL iBTまたはTOEFL ITPのスコアを提出すること。

*1 2学部全学科・全研究科

*2 2学部全学科

【注意】各協定校のページに記載の所要経費は概算であり、レートの変動等の影響により変わります。

コースカタログの内容は、派遣年度の際には変更になる可能性があります。

※所要経費(年額)は、交換の場合は、本学学費・渡航費を除いた、寮舎費(自己負担の場合)、食費、教材費、保険料、諸雑費等を含みます。
派遣の場合は、交換の場合の費用に留学先の大学の授業料が加わります。

アメリカ

Western Washington University

ウエスタン・ワシントン大学

<https://www.wwu.edu/>

1893年に教員養成機関New Whatcom State Normal Schoolとして設立され、その後幾度かの名称変更を経て1961年に現校名になりました。

大学院と7つのCollegeを擁する総合大学ですが、少人数教育をモットーとしています。学生の国際感覚の向上にも力を入れており、アジア各国の言語および文化を扱うプログラムが開講されているほか、アジアをはじめヨーロッパの大学と多数交流協定を持っています。

シアトルから90マイル北、カナダとの国境に近いベリンハム市の緑豊かなキャンパスは、市街とチャックナット湾を見下ろす位置にあります。学生と教員の比率は19：1です。

大学概要	
所在地	アメリカ、ワシントン州ベリンハム
創立年	1893年
協定締結	1981年6月
学生数	約15,000人
学期	クォーター制（秋学期：9月～12月、冬学期：1月～3月、春学期：4月～6月）
寮	寮またはアパートでの滞在となる。
学問分野	https://www.wwu.edu/majors



募集内容および出願資格			
募集人数	1人	留学期間	2027年3月～2028年3月
募集枠	交換留学生 ※州内授業料負担	対象	全学科（2年生以上）
学費の減免	留学先：交換留学の場合、州内授業料自己負担（2025年度：US\$10,292） 本学：在籍料相当額（年額20万円）に減免	寮舎費・食費	自己負担（寮あり）
所要経費(年額)	留学先学費、寮舎費、食費、教材費、保険、諸雑費 年間約500万円（本学学費、渡航費を除く）	授業の言語	英語
出願資格	出願時に学部2年生以上に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること。 TOEFL iBT 79またはIELTS 6.5以上のスコアを保持していること。		

先輩のコメント	多様性を大切にしてい一人一人が自分らしくいられる大学。
---------	-----------------------------

オーストラリア

Australian National University

オーストラリア国立大学

<http://www.anu.edu.au/>

オーストラリア国立大学は1946年に、大学院研究を唯一専門とする国立大学として創設された大学で、全豪ナンバーワン、世界でもトップクラスの教育水準を誇る大学です。学部は、人文社会科学、商学／経済学、アジア太平洋学、工学／情報工学、法学、医学／生物学／環境学、数学の7つのカレッジ（学部）から構成されています。また、生物化学、地球科学、物理化学／工学、天文学、化学、アジア太平洋学など、13のリサーチスクール（The Institute of Advanced Studies）を擁しています。国内外94ヶ国から約25,500人も学生が集まっています。

キャンベラの中心部に145ヘクタールのメイン・キャンパスを構え、200を超える建物を保有しています。ハーレー・グリフィン湖を臨むキャンパスは、対岸に市の中心街があるにも関わらず、カンガルーや白オウムなどの野生動物が生息するなど、非常に自然に恵まれた環境です。図書館の蔵書数は200万冊を超え、アジア・太平洋地域では他に類をみない規模を誇っています。

本学とは1981年に学生交換協定を締結しましたが、それより前の1974年からオーストラリア人実業家ダンカン夫妻（夫人は本学卒業生）の篤志により、その奨学金で本学学生が留学していました。

大学概要	
所在地	オーストラリア、キャンベラ
創立年	1946年
協定締結	1981年4月
学生数	25,500人(2019年)
学期	セメスター制（1学期：2月～6月、2学期：7月～11月）
寮	本学学生はUrsula Hallと呼ばれる男女共同寮に入ることが多い。定員は200名弱で3食付。1年を通してコンサートやスポーツ大会など様々なイベントが企画されている。そのほかの寮を希望することも出来る。
学問分野	https://programsandcourses.anu.edu.au/Search



募集内容および出願資格			
募集人数	3人	留学期間	2027年2月～2027年11月
募集枠	派遣留学生	対象	全学科（2年生以上）、全研究科（修士課程）
学費の減免	留学先：全額自己負担（2025年度 AU\$ 25,400） 本学：全額減免	寮舎費・食費	自己負担（寮あり）
所要経費(年額)	留学先学費、寮舎費、食費、教材費、保険、諸雑費 年間約640万円（本学学費、渡航費を除く）	授業の言語	英語
出願資格	1 出願時に学部2年生以上または大学院修士課程に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること。（大学院の授業は原則として受講できない） 2 本学の成績が原則としてGPA 3.0以上 3 IELTS 6.5（各セクション6.0）またはTOEFL iBT 81（Reading, Listening：各16、Writing, Speaking：各19）以上		

Deakin University

ディーキン大学

<http://www.deakin.edu.au/>

1974年に創立されたディーキン大学は、第2代オーストラリア首相、アルフレッド・ディーキンにちなんで名付けられました。
 ビクトリア州のメルボルンに1ヶ所、ジーロングに2ヶ所、ワーナンプールに1ヶ所、合計4ヶ所にキャンパスを構えています。Faculty of Arts and Education, Faculty of Business and Law, Faculty of Health, Faculty of Science, Engineering and Built Environmentの4つの学問領域のもと、多数の学位コースが設けられています。
 メイン・キャンパスであるメルボルン・バーウッド・キャンパス (Melbourne Campus at Burwood) はメルボルン郊外東部にあり、中心部からはトラムで約45分です。
 ディーキン大学附属英語学校 (DUELI: Deakin University English Language Institute) での事前語学研修付きのプログラムに参加した場合、DUELI クラブのイベント運営に関してインターン生あるいはボランティア生として活動できるチャンスがあります。

大学概要	
所在地	オーストラリア、ビクトリア州メルボルン (Burwood campus : メインキャンパス)
創立年	1974年
協定締結	2018年6月
学生数	学部生・大学院生 計約65,000人
学期	トライメスター制 (以下“T”と表記) T1 : 3月～6月、T2 : 7月～10月、T3 : 11月～2月
寮	キャンパス内の寮 (自炊)、食事付きのホームステイ等への滞在となる。
学問分野	https://www.deakin.edu.au/study/find-a-course



募集内容および出願資格			
募集人数	5人	留学期間	語学研修付き：2027年3月～2027年10月または2027年3月～2028年2月 直接入学：2027年2月～2027年10月または2027年2月～2028年2月
募集枠	派遣留学生	対象	全学科 (2年生以上)、全研究科 (修士課程)
学費の減免	留学先：全額自己負担 本学：在籍料相当額 (年額20万円、半期10万円) に減免	寮舎費・食費	自己負担 (寮あり)
所要経費 (年額)	留学先学費、寮舎費、食費、教材費、保険、諸雑費 年間約600万円 (本学学費、渡航費を除く、3科目登録、寮滞Inの場合)	授業の言語	英語
出願資格	1 出願時に学部2年生以上または大学院修士課程に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること (大学院の授業は原則として受講できない)。 2 以下の語学スコアを保持していること。 (2月開始の直接入学) : IELTS 6.0 (各セクション6.0) または TOEFL iBT 4 (Writing 4.5) 以上 *旧形式の場合 69 (Writing 21) 以上 (3月開始15週間の事前語学研修つき) : IELTS 5.0 または TOEFL iBT 3 (Writing 3) 以上 *旧形式の場合 50 (Writing 13) 以上		

先輩のコメント	色々な国籍やバックグラウンドを持つ学生たちが集まっているので、多様性を学ぶことが魅力です。
---------	---

Ewha Womans University

梨花女子大学校

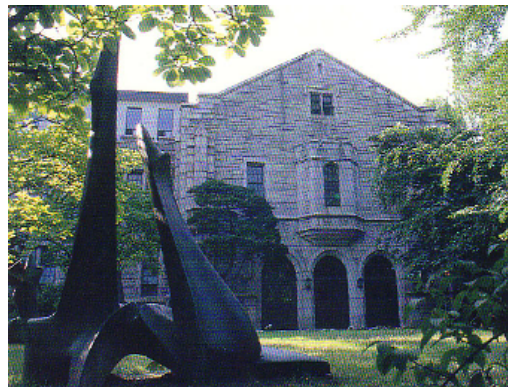
<http://www.ewha.ac.kr/>

梨花女子大学校は1886年にメソジストの宣教師であるアメリカ人Mary F. Scrantonによって創設された、女子大学としては世界でも他に類を見ない大規模な総合大学です。韓国で最も古い女子大学であり、女子教育の先導的役割を果たしてきました。1910年にはCollegeに、1946年には韓国教育省認可のUniversity第1号になりました。現在は世界を視野に入れた更なる発展を目指しています。

キャンパスは首都ソウルの中心地にあり、学生は市内で催される様々な文化的行事を見逃すことがありません。広大なキャンパスは街中にあるにもかかわらず、自然に恵まれた環境です。

現在は大学院と留学生に限って、男子学生を受け入れています。英語による授業も数多く提供しています。

大学概要	
所在地	韓国、ソウル
創立年	1886年
協定締結	1987年9月
学生数	学部生 約15,000人、大学院生 約 5,800人
学期	セメスター制（春学期：3月～6月、秋学期：9月～12月）
寮	学寮は4,300人を収容できる。1～4人部屋あり。その他留学生用に International Houseがある（1人部屋か2人部屋）。
学問分野	https://www.ewha.ac.kr/ewhaen/academics/college.do ※英語による授業も開講されている。



募集内容および出願資格			
募集人数	2人	留学期間	2027年3月～2027年12月
募集枠	交換留学生	対象	全学科（2年生以上）、全研究科（修士課程）
学費の減免	留学先：全額免除 本学：在籍料相当額（年額20万円）に減免	寮舎費・食費	自己負担（寮あり）
所要経費(年額)	交換留学の場合：年間約150万円 派遣留学の場合：年間約250万円	授業の言語	韓国・朝鮮語
出願資格	1 出願時に学部2年生以上または大学院修士課程に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること。 2 韓国・朝鮮語の学習をしていること。 3 TOEFL iBTまたはTOEFL ITPのスコアを提出すること（提出するスコアの目安：TOEFL ITP 500以上）。		

Kookmin University

国民大学校

<https://english.kookmin.ac.kr/>

国民大学校は戦後の1946年、大韓民国臨時政府指導者たちが中心となり、新しい国を作るための人材を養成することを目的として設立された韓国初の私立大学であり、現在はグローバルな学術交流を先導する教育機関として成長し続けています。国民大学校は、文科大学、社会科学大学、工科大学、造形大学のほか16大学（日本の学部該当する）並びに一般大学院、特殊大学院及び付属研究所から構成されている総合大学です。多くの教育機関と姉妹校提携及び学術交流協定を結び、交換・訪問学生制度や単位認定語学研修などを実施しています。特に1998年に新設された国際学部の日本地域研究は国民大学校の三本の柱といわれており、国内の大学ではトップを競う分野となっております。付属研究所の一つである日本学研究所は韓国政府の学術基金に支えられ、多様な長期プロジェクトを遂行しており、韓国における日本研究の拠点としての役割を果たしています。英語および日本語による授業も数多く提供しています。

大学概要	
所在地	韓国、ソウル
創立年	1946年
協定締結	2016年4月
学生数	学部生 約15,000人、大学院生 約3,000人
学期	セメスター制（春学期：3月～6月、秋学期：9月～12月）
寮	学内外に学寮あり
学問分野	https://english.kookmin.ac.kr/academics/undergraduates/globals ※英語または日本語による授業も提供されている。



募集内容および出願資格			
募集人数	2人	留学期間	2027年3月～2027年12月
募集枠	交換留学生	対象	全学科（2年生以上）
学費の減免	留学先：全額免除 本学：在籍料相当額（年額20万円）に減免	寮舎費・食費	自己負担
所要経費(年額)	年間約110万円	授業の言語	韓国・朝鮮語
出願資格	1 出願時に学部2年生以上に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること。 2 韓国・朝鮮語の学習をしていること。 3 TOEFL iBTまたはTOEFL ITPのスコアを提出すること（提出するスコアの目安：TOEFL ITP 500以上）。		
注意等	本学学生は日本学科に所属し、日本学科の授業を履修することになる。それ以外の学科の授業を履修したい場合は、韓国語のスコアが求められる場合がある。		

先輩のコメント	国民大学校は、多国籍な学生との交流環境と、意欲ある学びを正當に評価している印象が強く、明確な目標を持って挑戦すれば確かな成長を実感できる協定校だと思います。
---------	--

Institute for International Students, Nanjing University

南京大学海外教育学院

<http://hwxy.nju.edu.cn/cn/>

南京大学は、南京市の中心部に位置する中国において古い歴史と伝統を持つ最も著名な大学のひとつです。幅広い研究領域、充実した研究設備をもち、中国で最大規模の図書館を所有しています。また、キャンパスには研究所、総合研究センター、分析センター、ネットワーク情報センター、教育テクノロジーセンターなどの施設があります。

本学と協定を結ぶ、海外教育学院は南京大学鼓楼キャンパスにあり、初級から大学院レベルまでの中国語プログラムを提供しています。現在は、韓国、アメリカなどから多くの留学生が南京大学海外教育学院で学んでいます。留学生は中国語のほか、中国近代史、中国経済、中国絵画、中国哲学、太極拳などを選択することができます。

キャンパスのある南京市は江蘇省の省都で、長江下流の沿岸に位置します。同市は江南地域の中心的な経済都市で、悠久の伝統と文化を有します。四季があり、風光明媚で、快適かつ安全に暮らせます。夏場の気温は高く、7・8月の平均気温は30度を超すこともあります。北京、西安、洛陽に並ぶ中国四大古都の一つで、歴史的遺跡、とりわけ六朝時代、明朝時代、中華民国時代の遺産が数多く保存されています。

大学概要	
所在地	中国江蘇省南京市
創立年	1955年
協定締結	2011年4月
学生数	約3,100人
学期	セメスター制（秋学期：9月～1月、春学期：2月～6月）
寮	留学生には寮が優先的に提供される。
学問分野	https://hwxy.nju.edu.cn/lxnd/zsxx/hyxx/zqhyjx/index.html



募集内容および出願資格			
募集人数	3人	留学期間	2027年2月～2027年12月
募集枠	派遣留学生	対象	全学科（2年生以上）、全研究科（修士課程）
学費の減免	留学先：全額自己負担 本学：在籍料相当額（年額20万円）に減免	寮舎費・食費	自己負担（寮あり）
所要経費(年額)	年間約150万円	授業の言語	中国語
出願資格	1 出願時に学部2年生以上または大学院修士課程に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること（ただし、受講できるのは学部の授業のみ）。 2 中国語Ⅱを履修中または修了していること。		

Tamkang University

淡江大学

<http://www.tku.edu.tw/>

淡江大学は1950年、淡江英語専科学校として開校し、その後1958年に文理学院となり、1980年に大学となりました。現在では台湾最大の学生数を抱える大規模な私立大学です。台北・淡水の二つのキャンパスに加え、蘭陽キャンパス、Cyber Campusの4つのキャンパスがあります。教授法プログラムや図書館システム、大学行政での積極的なコンピューター利用、また学生による授業評価の取り入れや夜間学部の設立など、台湾の私立大学としては初めてという試みを多くしてきました。教育の質を厳しく追及し、より地域に根ざした総合大学として発展し、ひいては国際的な学術研究の舞台で活躍できる、世界でトップクラスの総合大学へと成長していくことを目下の課題としています。

大学概要	
所在地	台湾省台北県淡水鎮
創立年	1950年
協定締結	1994年4月
学生数	約24,000人
学期	セメスター制（1学期：9月～1月、2学期：2月～6月）
寮	本学学生は、松涛館という4人部屋からなる学寮、または留学生用の麗澤国際寮に入る。
学問分野	https://www.tku.edu.tw/acad.asp （中国語） https://english.tku.edu.tw/Academics.asp （英語）



募集内容および出願資格			
募集人数	2人	留学期間	2027年2月～2028年1月
募集枠	交換留学生	対象	全学科（2年生以上）
学費の減免	留学先：全額免除 本学：在籍料相当額（年額20万円）に減免	寮舎費・食費	寮舎費：全額免除 食費：自己負担
所要経費(年額)	年間約90万円	授業の言語	中国語
出願資格	1 出願時に学部2年生以上または大学院修士課程に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること。 2 中国語IIを履修中または修了していること。		
注意等	<ul style="list-style-type: none"> ・学内選考における一次試験（中国語能力試験）は繁体字を含む。 ・HSKテスト上でLevel 3以上の証明書を保持していることが推奨される。 		

先輩のコメント	国内最大級の規模を誇る総合大学ならではの活気にあふれ、国境を越えた交流が日常的に生まれる環境が魅力です。
---------	--